



シェラトン・グランデ・オーシャンリゾートに泊まって、最新のがん検診とゴルフです。

ダンロップフェニックストーナメント開催コース高千穂・住吉コース確約!



松泉宮の温泉バスポート付き

滞在中、浴場『新月』『月読』が何回でもご利用出来ます。

# フェニックスPET&ゴルフ2日間

☆オプションで頭部MRI・MRA と 女性にはマンモグラフィーも可能です。

■実施期間 2017年12月4日～2018年5月31日 ※但し、12/22～1/8、2/12、3/21、4/28～5/6発を除きます。

旅行代金	羽田・中部国際・伊丹発着	
	A期間	B期間
出発日	4/1～5/31	12/4～3/31
月～木曜日発	205,000円	215,000円
金曜日発	215,000円	225,000円
土曜日発	220,000円	234,000円

## オプション検診プラン

■頭部MRI・MRA撮影  
27,000円(約60分・送迎付)  
脳腫瘍・脳梗塞・くも膜下・脳動脈瘤などの発見に…。

■マンモグラフィー検診(女性のみ)  
9,000円(約60分・送迎付)  
※PET検診のあと、同日の午後からホテルまでの送迎付きで検診可能です。  
※胃カメラ/上部内視鏡検査16,000円(90分・送迎付)は2泊3日の場合に限り可能です。

※2名様でお申し込みの場合、ゴルフは他のお客様との組み合わせとなります。

※3/20出発は全額代金が適用されます。

含まれるもの ●各地～宮崎往復航空運賃 ●空港施設使用料 ●空港～クリニック～ホテル間の送迎車 ●シェラトン・グランデ・オーシャンリゾート 1泊1朝食付宿泊料(デラックスツインルーム:2名様1室利用) ●1.0Rのグリーンフィー・諸経費(キャディーフィー・利用税・ロッカーフィー別) ●PET プラチナコース検診料金

泊2日コース日程	1泊1日目		2泊2日目	
	各地空港 06:45～ 08:15頃発 ↓ 宮崎空港	鶴田記念クリニック がん診断センターにて PET-CT検査 (約4時間)	送迎車 15分	ホテル シャトル 5分

★各出発日も検査予約の確認をしてからのご返答となります。(土曜日は不定期検診)  
★往復航空便の出発時刻の変更も可能です。下記の注意事項を前提にご希望のスケジュールをご相談下さい。  
☆検診日前夜は飲酒できません。また21時以降は食事・喫煙等は出来ません。(水・お茶のみ摂取可)  
☆前日はなるべく運動をしていない方が検査には有効です。

★検査開始から結果説明まで所要時間約4時間、午後から安心してハーフラウンドも可能です。



>受付  
採尿・更衣・問診  
超音波検査(腹部)  
水分摂取  
CT検査(胸部・腹部)

>診察 >採血  
PET検査用薬剤  
静脈注射  
>安静(60分)  
体内に薬剤が広がるまで安静

>PET-CT検査  
(約15分)  
検査台に楽な姿勢で横になっていただきます。PETカメラの撮影はとて静かで快適です。

※待ち時間約30分  
軽食をご用意しています。  
>診断結果説明  
(約2週間後に尿検査と血液検査(腫瘍マーカー)の結果報告書が届きます。)

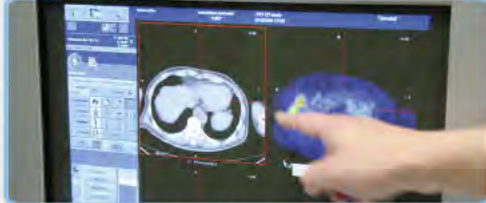
**受診前の注意点** ご出発前に鶴田記念クリニックより予定日の確認と検査内容の説明の電話があります。ご不明の点はその際に充分お確かめ頂くことができます。

クラブハウスでゆっくりと朝食を・・・  
(ホテルでの朝食も選択可能です。)

厳選された宮崎の食材でプレー前のパワーチャージ!  
宮崎鶴田記念クリニック がん診断センター  
www.ryutoku.or.jp



**最新のがん診断法「PET」とは**  
一度に全身のガン検診が可能です。  
PETとは陽電子放射断層撮影(Positron Emission Tomography)の略語です。がん細胞は正常細胞に比べて多くのブドウ糖を細胞内に取り込む性質を持っています。([ガン]のあるところにはブドウ糖が多く集まります。)この性質を利用して、一度に全身を撮影(頭部除く)してガンの所在を探ります。従来の検査法では診断の難しかった部位のがん細胞や、増殖前のごく小さながん細胞を発見することも可能です。



九州で初めてPET-CTカメラを導入した宮崎鶴田記念クリニックがん診断センター  
●複合型の診断  
PET検査に、CT・超音波・血液・(腫瘍マーカー)の各検査を組み合わせた複合型の診断システムを採用し、PET単独の場合に比べて、約2倍の検出率となっています。  
●国内で3台目のPET-CTカメラの導入  
PETとCTの撮影が同時に行えるPET-CTカメラを九州で初めて導入(2004年5月より稼働)。PETとCTをそれぞれ単独で撮影した場合に比べて飛躍的に診断精度が向上しました。